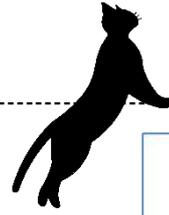


## ずいひつ

No.158



2022年9月25日発行

## 寒いので入れてください！ ～Y家にやってきた珍客～

我が家には、数々の珍客がやってきます。ある寒い冬の日の事、家族で夕飯を済ませて片づけに入ろうとした時、庭から、「にゃ～～～！！」と大音量の鳴き声が聞こえてきました。驚いて裏庭を覗くと、青い首輪をつけた猫が座っていました。その子のご近所さんの飼育猫で、よく家を抜け出していろいろなところに顔を出しては通りすがりの人々に甘えて回る有名な猫でした。なぜか写真を撮ると顔が大きく



映ることから、我が家では『ドラえもん』と勝手に呼んでいました。かわいい猫を間近で見たくて、最寄りにある台所の扉をそっと開けると、「あ～、寒かった。呼んだんだから早く開けてよね」と聞こえてきそうな軽い足取りでその隙間から入ってこようとしたのです。思いもよらない行動に驚き、急いで猫の行く手を家族全員の手で塞ぎ、ここは君の家じゃないよ！入れてあげられないよ！ご飯はないよ！扉に挟まったら危ないよ！と口々に言いながら入室をお断りしました。しかし、猫はその場から離れようとはせず、扉の前で座り込んでしまいま

した。

さすがに木の縁側は冷えて寒いだろうと近くにあったバスマットを貸し出すと、もぞもぞ居住まいを整え時々鳴いてはこちらをちらり。かわいい上目遣いや目を細めて凄んでみせますが、よそのお宅の子をおいそれと入れるわけにはいきません。あまり構うと、変な期待を持たせてしまうので、あきらめて帰るまで少し放っておくことにしました。しかし、食器洗いをしていると、後ろから視線が……。

**圧が強い……しかも窓越しにまだ鳴いてる……。**

写真の撮り方でたまたまこうなっていると思うのですが、家に入りたがった事を考えると、「入れろ～！聞いているのか～！ここは寒いんだぞ～！」と言っているようでした。

冷たい視線と非難の鳴き声に負けず洗い物を終え振り返ってみると、いつの間にかドラえもんは姿を消していました。

それ以来、ドラえもんが我が家の庭に現れることはありませんでしたが、道で見かけることは度々ありました。嫌われてしまったかな？と近寄ると、すりすり甘えてきてくれました。ここ数年は全然見かけないなと思っていたのですが、先日暗い帰り道のこと。月がきれいだったので空を見ていると、視界の端に見えた家の明かりが目にとまりました。よく見てみるとその明かりに照らされたドラえもんらしき影が家の中からこちらを見つめていました。よくよく考えたら、あれは本当にドラえもんだったのか。距離もあったし、似ている子だったのでないか？疑問は尽きませんがそんなこちらのことなど気にも留めず、今日もどこかで元気に人を振り回している。そんな気がします。だって押しの強いドラえもんですから。



(猫の可愛さに屈しそうな司書7年生 Y)